

山形県感染症発生情報

第20週(平成22年5月17日～平成22年5月23日)

疾患名	報告数	増減	特記事項
(インフルエンザ定点 48)			
インフルエンザ	2	△	
(小児科定点 30)			
RSウイルス感染症	2	△	
咽頭結膜熱	2	▽	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	138	▲	多発中
感染性胃腸炎	305	▲	多発中
水痘	46	▽	
手足口病	42	▲	
伝染性紅斑	42	▲	
突発性発しん	18	▽	
百日咳	2	△	
ヘルパンギーナ	2	▽	
流行性耳下腺炎	19	▽	
(眼科定点 8)			
急性出血性結膜炎	0		
流行性角結膜炎	7		
(基幹定点 10)			
クラミジア肺炎	0		
細菌性髄膜炎	0		
マイコプラズマ肺炎	2	▽	
無菌性髄膜炎	1	△	

(▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少、多発中:報告数50名以上)

疾患名	報告数			累積報告数 (*平成22年1月～)
	第20週	1週前	2週前	
2類感染症				
結核	3	4	2	62
コレラ	0	0	0	0
3類感染症				
細菌性赤痢	0	0	0	0
腸管出血性大腸菌感染症	0	1	0	12
バラチフス	0	0	0	0
4,5類感染症				
E型肝炎	0	0	0	0
A型肝炎	0	0	0	0
オウム病	0	0	0	0
つつが虫病	0	0	0	0
ライム病	0	0	0	0
レジオネラ症	0	0	0	2
アメーバ赤痢	0	0	0	3
ウイルス性肝炎	0	0	0	1
急性脳炎	0	0	0	1
クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	0	0	1
後天性免疫不全症候群	0	0	0	0
ジアルジア症	0	0	0	0
髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0
梅毒	0	0	0	0
破傷風	0	0	0	1
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	2
風しん	0	0	0	0
麻疹	0	0	0	1

- 1 感染性胃腸炎は、前週とほぼ同数であった。山形市、南陽市、新庄市で定点当たり報告数が多い。
(山形市:15.3人、南陽市:15.0人、新庄市:12.7人)
- 2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、最上地区を除く3地区で増加しており、庄内地区が他の地区を上回っている。
(報告数が多い定点 鶴岡市:8.5人、米沢市:8.0人、山形市:7.5人)
- 3 伝染性紅斑は、庄内地区で再び急増した。村山地区でも、2週連続増加している。
(報告数が多い定点 鶴岡市:5.8人、山辺町:3.0人、山形市:2.2人)
- 4 手足口病は、庄内地区を除く3地区で増加しており、県全体の報告数は前週の約2倍に増加している。
(報告数が多い定点 長井市:5.0人、米沢市:3.5人、新庄市:3.0人)
- 5 水痘が置賜地区で増加しており、米沢市と長井市の医療機関で定点当たり報告数が多い。
(米沢市:6.5人、長井市:5.0人)
- 6 結核の患者が最上地区から1名、庄内地区から1名(田川)、無症状病原体保有者が置賜地区から1名(西置賜)、計3名報告された。
- 7 劇症型溶血性レンサ球菌感染症の患者が、庄内地区から1名報告された(血清群:A群)。2007年以来、3年ぶりの報告となった。

(5月25日現在 山形県衛生研究所)